キャリアアップ通信

Vol.9　2022年 3月号
発行：医療局職員課

はじめに

みなさん、こんにちは！岩手県医療局職員課人事担当です。
県立病院で働く職員を紹介する「キャリアアップ通信」の第９号が完成しました。
資格を取得し活躍している３名の方を紹介します。
今回は、子育て支援を目的に設置している**「院内保育所」を利用している職員の声も聞くことができました**ので、ぜひご覧ください！

院内保育所

岩手県立病院では職員の子育て支援を目的に、**院内保育所**を設置しています。

【設置病院】
中央病院　大船渡病院　釜石病院　宮古病院　胆沢病院　磐井病院
久慈病院　江刺病院　中部病院　二戸病院

設置病院以外の勤務であっても保育所の利用は可能です！

【利用対象者】
岩手県立病院職員が養育する乳幼児

【保育内容】
日中の基本保育のほか、一時保育、延長保育、終夜保育、病児保育※、病後児保育にも対応　※病児保育は中央病院、中部病院に設置

（保育料）
基本保育（7:30～18:30）３歳未満　月額 36,000 円
　　　　　　　　　　　３歳以上　月額 24,000 円
※利用内容により加算あり
（例：終夜保育　１回 1,600 円、病児保育 2,200 円）

保育料は月額上限の範囲内で無償化の対象となります。（一旦病院へ支払後、市町村へ請求）

【その他】
女性医師を対象とした学童（小学生児童）保育制度あり

（掲載内容は令和４年３月現在）

バックナンバーは岩手県医療局ホームページでご覧いただけます。
【岩手県医療局職員課人事担当 ☎019-629-6861】

認知症看護認定看護師

認知症看護認定看護師は、認知症に関しての熟練した知識と看護技術が認められた資格です。認知症の症状は患者によってさまざまで、専門的な知識がないと対応が難しい場合もあり、そのようなときに、認知症看護認定看護師は知識や経験に基づき適切な対応を行います。

また、ほかの看護師への教育を通じて、認知症看護の質の向上にも努めています。

栄養サポートチーム（NST）専門療法士

栄養サポートチーム（NST）は職種の壁を越えたメンバーで組織され、低栄養状態の入院患者さんを対象に、多職種の医療スタッフが協力して、最良の栄養管理を行い、疾病の治癒や合併症の予防を目指します。

栄養サポートチーム（NST）専門療法士は、管理栄養士をはじめとする、NST に関わる様々な専門職が取得していますが、管理栄養士は栄養に関する専門的な知識を持つ者として NST の中心となっています。

診療情報管理士

診療情報管理士は、診療記録および診療情報を適切に管理し、それらに含まれる情報を活用することで、医療の安全管理や質の向上、病院の経営管理に役立てています。

診療記録が適切に管理されることで、患者さんの過去の病気や治療内容を医師がすぐに確認し適切な対応を行うことができます。

診療情報管理士の専門的な知識はもちろんのこと、医師をはじめとする他の職種との連携も重要な仕事です。

岩手県立病院では**各種研修、学会等への出張派遣を支援**しています！
（参加費、旅費、認定料等公費負担）

私が岩手県立病院を選んだ7つの理由　☆絶賛 YouTube で公開中

岩手県立病院　検索

7つの理由　ショートドラマ

認知症看護認定看護師

一戸病院　看護科　　看護師
千葉　道子　さん

平成14年　岩手県立病院採用
平成27年　認知症看護認定看護師資格取得

仕事と子育て
両立のため院内保育所
（終夜保育）を利用中！



Q　**資格を取得しようと思ったきっかけを教えてください。**

　一般病棟に勤務していた時、認知症疾患で食事摂取不良の患者さんがいました。食べたいという気持ちがあっても食べ物を認識出来ず食事量が増えなかったため、精神科の力を借りたいと考えましたが、医師に適切な情報提供が出来ず、精神科受診に繋げることができませんでした。もっと認知症の知識があれば医師へ適切な情報提供を行い患者さんの思いに答えられたのではないかという思いから資格取得を志しました。

Q　**現在の活動状況を教えてください。**

　主に精神科外来で、もの忘れによる受診希望の方や自宅で認知症の方を介護している家族の相談対応を行っています。入院患者についても対応困難事例があればカンファレンスに参加しアドバイスを行います。そのほか、認知症ケアチームの活動として対応マニュアルの見直しなども行っています。

Q　**終夜保育を利用されているとのことですが、利用することになった経緯などを教えてください。**

　夫は仕事で朝早く出かけるため朝の子供たちの世話が難しく、また自分の両親に預けるにも遠方で送迎が困難であったからです。夫も子供たちを一晩中一人で見ることに多少不安があったようで、相談の結果、終夜保育を利用することにしました。

Q　**終夜保育を利用してみていかがですか？**

　初め娘一人で利用していた時は「今日はお泊まり行きたくない」と話すこともありましたが、弟も一緒に利用するようになると、お迎えの時に「今日のご飯は何だったでしょうか？」とクイズを出してきたり、保育中のこと（お風呂に入った、ぬいぐるみと一緒に寝たなど）を楽しそうに教えてくれるようになりました。2歳半の息子は最初こそ泣いたようですが、今では泣かずに一晩過ごしています。子供たちに寂しい思いをさせているのかな、と思うこともありますが、最近では娘から母親の仕事を思ってくれているような発言もあり、子供の成長を感じています。



Q　**仕事と子育ての両立についてお聞かせください。**

　毎朝１時間の部分休業を取得しているほか、子供の発熱時には看護休暇をいただいており、職場の皆さんには大変感謝しています。家族はもちろんですが、職場のスタッフ、保育所の先生など、たくさんの人の協力があって、仕事と子育てを両立できています。

Q　**その他、みなさんに伝えたいことがあればお願いします。**

　資格を自分が取得できるのか？仕事は？生活は？などなど色々悩むと思います。でも、岩手県立病院にはこれまで資格取得してきた先輩がたくさんいるので、そのような先輩に相談しながら自分がどうなりたいかを考えて挑戦すれば大丈夫です。

　最後に、資格取得時から、妊娠・出産後の現在もたくさんの方に助けていただき働き続けることができています。

　本当にありがとうございます。

栄養サポートチーム（NST）専門療法士

宮古病院　栄養管理科　　管理栄養士
駒場　文恵　さん

平成24年　岩手県立病院採用
令和 2年　NST専門療法士資格取得

Q　資格を取得しようと思ったきっかけを教えてください。

先輩方がNST専門療法士として活動している姿を見たり、栄養指導で様々な患者さんと接する中で、自分も更に専門的な知識を身につけたいと思ったのがきっかけです。

Q　資格取得に向けた勉強や研修中の様子を教えてください。

NST専門療法士の受験に必要な単位取得のため、様々な学会やセミナーへ参加させていただき、実地修練を経て症例レポートの提出を行いました。

その後、テキストや問題集を活用して勉強し、認定試験を受けました。

研修中は、他職種の方といっしょに数日間の講義を受け、NST回診に同行し症例レポートを作成しました。

Q　現在の活動状況を教えてください。

現在は週１回のNST回診や月１回のNST歯科医師連携回診にチームの一員として同行しています。対象患者さんに関わる他職種の方々から患者さんの状況を伺いながら回診を行っています。



Q　資格取得で業務に役立っていることや、仕事のやりがいなどについて教えてください。

資格取得を目指して勉強したことで、自分の知識をさらに深め、業務に携わる事ができ、自分の考えること、話すことの幅が広がっていることを実感しています。

これからも自分の学んだことを活かし、少しでも患者さんの役に立ちたいと思っています。

Q　これから資格取得を目指す方へアドバイスをお願いします。

資格取得を目指して勉強する中で、学会やセミナーに参加し、実地修練や試験会場で出会う方々からたくさんの刺激を受けました。

様々な資格があると思いますが、資格取得を目指すことで、興味のある分野を深く勉強する機会にもなりますし、自分に刺激を与える良いきっかけにもなると思います。

ぜひみなさんも興味のある分野でチャレンジしてみてください。

診療情報管理士

二戸病院　事務局　　主事

大山　恵実　さん

平成28年　岩手県立病院採用
令和 3年　診療情報管理士資格取得



Q　<u>資格を取得しようと思ったきっかけを教えてください。</u>

診療情報管理士の資格を取得して活躍している先輩の姿を見て、診療情報管理士に興味を持つようになりました。

以前は医療局からの研修派遣には採用後5年以上という条件があり、”自分はまだ先だな～”と思っていましたが、採用3年目の時にその条件がなくなり上司から研修派遣について声をかけてもらいました。そこで「やるなら今しかない」と思い資格取得を決めました。

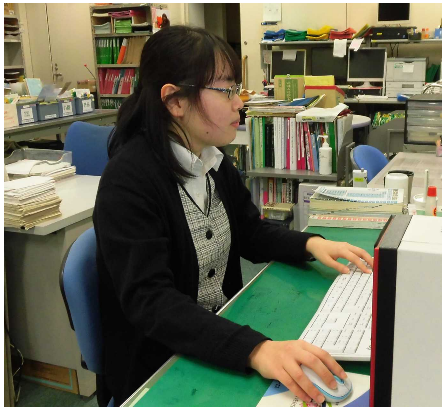
Q　<u>資格取得に向けた勉強や研修の様子を教えてください。</u>

基礎課程1年、専門課程1年の計2年間の通信教育を行いました。自分が受講した時は研修方法が集合研修から e-ラーニングへ移行となった時期で、集合研修を1回行い、以降はオンラインで研修を受けました。

通信教育による合格率は40％程度と聞いていたので不安でしたが、平日の業務終了後や休日に e-ラーニングを受講したり、やテキスト・問題集を使った勉強を行い、無事認定試験に合格することができました。

Q　<u>現在の活動状況について教えてください。</u>

現在は主に DPC 業務に携わっており、月の前半は DPC 調査のデータ提出、後半は経営分析資料の作成を中心に行っています。分析結果については院内の報告会で発表したり、必要に応じて各診療科に直接説明し、経営的視点から診療行為を見直すことを提案しています。



Q　<u>資格取得で業務に役立っていることや、仕事のやりがいなどについて教えてください。</u>

DPC に携わるにあたって必要な疾病についての知識や分析手法が身につけられたことで、業務効率の向上や、分析資料を説明する際の自信に繋がっていると感じています。分析結果を医師に提案してもすべてにいい返事が返ってくるとは限らないですが、自分の提案により病院全体の改善に繋がっていくことがやりがいと言えると思います。

Q　<u>これから資格取得を目指す方へアドバイスをお願いします。</u>

仕事と勉強の両立は大変ですが新たな視点を手に入れるチャンスでもあると思います。診療情報管理士の資格を持つ先輩は周りにたくさんいますので、いつでも相談できる環境にあります。

少しでも興味があれば、まずは話を聞いてみるところからスタートしてみてはどうでしょうか。